

畜産ネットワーク ちば

2023年5月19日

第57号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

就任にあたってのあいさつ



千葉県農林水産部長
前田 敏也

千葉県農林水産部長を
拝命しました前田でござ
います。

畜産協会の会員及び畜産関係の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、昨年11月から県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応におきましては、関係する皆様に多大なる御協力をいただき、3月6日午前0時をもって全ての移動制限を解除することができましたことに、重ねてお礼申し上げます。

さて、本県の畜産産出額は農業産出額の約3割を占める重要な部門となっておりますが、経営戸数・飼養頭数の減少をはじめ、国際情勢の悪化による物価の高騰、それによって引き起こされた生産コストの増大が畜産業に大きな影を落としており、生産基盤の強化が課題となっているところです。

また、昨年度、本県では高病原性鳥インフルエンザが6件発生し、国内においても発生件数、殺処分数が過去最多を記録する事態となりました。豚熱においては、県外での発生に関連して、本県に移動した豚が疑似患畜となるなど、家畜伝染病の対策がより一層重視されているところです。

このような中、県では、千葉県農林水産業振興計画（計画年度：令和4～令和7年度）に基づき、多様な畜産経営の実現に取り組むこととしており、令和5年度は主に次の施策を推進してまいります。

1 家畜の生産性向上と労働負担の軽減

ゲノミック評価や受精卵移植の活用により優良な家畜を確保・育成し、家畜の生産性向上を図ります。また、スマート技術の導入や飼料生産コントラクターの育成等による作業の省力化や外部化を図ることにより、意欲を持って働ける魅力ある畜産経営の実現を目指します。

2 自給飼料等の生産・利用拡大

国産飼料に立脚した畜産経営のために、畜産農家と耕種農家の連携による飼料用米や稲ホールクロップサイレージなどの活用、二期作・二毛作の推進により自給飼料の生産・利用拡大を推進します。

3 県産畜産物の販売促進

関係団体等と連携して、県産畜産物のPR活動を行います。また、効果的な情報発信により県産畜産物の販路を開拓するとともに、消費者の購入機会を拡大します。

4 家畜伝染病に対する防疫体制の強化

今年度から登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチンの接種が可能となることから、適期での確実なワクチン接種を促進するなど、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のための防疫体制強化に取り組みます。

これらの県施策の推進につきまして、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、会員及び関係者の皆様並びに本県畜産の益々の御発展を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

令和4年度第2回通常理事会開催

令和4年度第2回通常理事会について下記のとおり開催いたしました。（総務課 榎屋）

令和4年度第2回通常理事会（令和5年3月13日 千葉市：プラザ菜の花）

森会長出席のもと開催、令和5年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全2議案が原案どおり承認されました。

昨年は国際情勢の激変により畜産業界が大きく影響を受けた年となりました。

世界的にコロナ禍から経済回復する中、飼料の急激な需要増や生産地の干ばつに加えロシアのウクライナ侵攻や円安などにより、飼料価格が異常に高騰し畜産経営に大きな打撃となり、まさに、畜産業界にとって苦難の1年でした。

養鶏業界では、昨年11月に高病原性鳥インフルエンザ発生があり、今年に入って大規模農家で続発し、養鶏農家は大きな影響を受けることとなりました。

酪農においては、コロナ禍による消費低迷と増産による需給緩和により生乳廃棄の危機を何度も迎え、飼料などの生産資材の高騰も重なり、酪農経営はかつてないほど厳しくなっています。

養豚では、全国的に豚熱ワクチンを接種した農場でも、ワクチンブレイクによる豚熱の発生があり、家畜衛生に係る経費の増大とともに農場経営の課題となっています。

肉牛においては、経営環境の厳しい中、25年ぶりに「全国和牛能力共進会」に参加し、千葉県の存在感を示す画期的な成果をあげることができましたが、県産牛肉のブランド力強化が課題となっています。

このように、昨年は畜産業界にとって大変厳しい経営環境の一年であり、この状況は本年度も続くことが予想されます。

一方で、コロナ禍により減退した畜産物の消費は、卵や食肉を中心に徐々に回復に向かっており、令和5年度のスタートに当たり明るい兆しも見えています。

本年は千葉県誕生150周年となる節目の年であり、各地で記念行事などが開催されます。

これを機会に当協会では、生産資材の高騰や感染症の対策などに対応しながら、県産畜産物

全体のブランド力の向上を図るとともに、引き続き生産者の経営安定に取り組んでいきます。

酪農生産においては、牛伝染性リンパ腫やBVDの清浄化対策など経営上大きな損出となる伝染病の対策や生産技術の指導のためコンサルタント派遣などの事業を引き続き実施します。

肉牛生産に関しては、「肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）」などの的確な運営に努めるとともに、事務局であるチバザビーフ協議会を中心に共励会の開催等により県産牛肉のアピールに努めていきます。

養豚生産においては、養豚経営安定交付金などの制度を着実に実施するとともに農場HACCP制度や生産現場での研修会等の実施により農場衛生水準の向上に努めていきます。

畜種全般においては、「畜産クラスター事業」などを通じた生産環境の整備や千葉県畜産フェアや各種イベントの実施により、畜産物の販売促進に取り組みます。

こうした各種事業を効率的、効果的に進めることで、生産者等との連携強化を進め、生産者の要望や意見等の集約を図り、関係機関等への発信に努めます。

さらに、緊急的な課題や当協会独自の事業についても積極的に取り組み、様々な場面で関係者の信頼確保に努めてまいります。



【千葉の魅力発見コーナー】（21世紀の森と広場）

県庁各課や市町村の物販や体験が楽しめます。当協会も畜産PRのため出店いたします。

令和5年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。（総務課 榎屋）

◎理事会

会長理事	(非常勤)	森 英介
副会長理事	(非常勤)	5名
理事	(非常勤)	9名
専務理事	(常勤)	岡田 望
常務理事	(常勤)	富田 耕太郎

◎委員会

- ◆家畜衛生業務評議委員会
- ◆養豚振興委員会

◎事務局

総務・企画部		次長 武田 善秀
総務課	課長(次長兼務)	武田 善秀
	調査役	榎屋 健太郎
	臨時職員	藤代 直子
	臨時職員	山中 美穂
企画課	課長(次長兼務)	武田 善秀
	主任技師	飯沼 大輝
	臨時職員	瀧口 麻美
	臨時職員	胡口 常代

事業部		部長 富田 耕太郎(常務理事兼務)
経営・環境課	課長(常務理事兼務)	富田 耕太郎
	主査	小倉 崇司
	嘱託職員	薫田 耕平
	嘱託職員	福島 達哉
衛生指導課	課長(専務理事兼務)	岡田 望
	臨時職員	高橋 早苗
生産課	課長	金杉 文一
	嘱託職員	加藤 脩三
	臨時職員	高橋 真理
	臨時職員(ナイスポーク)	原澤 文恵

◎畜産団体事務局

★千葉県養蜂協会 【担当者】総務課 榎屋
★ちば畜産レディースネットワーク 【担当者】総務課 榎屋
★千葉県馬事畜産振興協議会 【担当者】企画課 飯沼
<p><事務局ロゴ等></p>  <p>千葉県畜産フェア (畜産物消費拡大) うまい牛肉 チバザビーフ 旨さが多彩 チバザポーク ナイスポークチバ推進協議会</p>

★千葉県畜産物消費拡大推進協議会 【担当者】経営・環境課 小倉
★チバザビーフ協議会 【担当者】経営・環境課 小倉
★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 【担当者】経営・環境課 薫田
★千葉県自家検定推進協議会 【担当者】生産課 金杉
★チバザポーク販売推進協議会 【担当者】生産課 金杉
★ナイスポークチバ推進協議会 【担当者】生産課 加藤

畜産映像情報

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：国産原料100%の飼料で黒毛和牛を肥育する農家に密着！／シリーズ 令和の畜産危機にさせないために／放牧で飼料代・燃料代を抑えた酪農経営／他

◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

日本の酪農応援！地方競馬ミルクウィーク開催

牛乳・乳製品の消費の低迷が懸念される3月に、その消費拡大の一助となるべく、地方競馬が一丸となった新たな取組みがスタート、それが『地方競馬ミルクウィーク』です。

期間中は、全国の地方競馬場で地域の牛乳・乳製品の配布や冠レースが実施され牛乳・乳製品の消費拡大につながるPR活動を通じて日本の酪農を応援しました。

関東では、大井競馬場（東京都）と船橋競馬場（千葉県）が競馬開催の期間にもあたり多くの方々にご来場いただきました。



大井競馬場（東京都） 【3月9日（木）】

4都県（山梨県、長野県、静岡県、東京都）産の牛乳を使用した飲むヨーグルト等が配布されました。（各都県250名、計1,000名配布。）

また、冠レース「がんばれ！関東の酪農応援in大井賞」が開催されました。



（山梨県）



（長野県）



（静岡県）



（東京都）

船橋競馬場（千葉県） 【3月13日（月）～16日（木）】

4県（茨城県、千葉県、栃木県、群馬県）が日替わりで地元産の牛乳を使用した飲むヨーグルトを配布しました。（各県250名、計1,000名配布。）

また、冠レース「がんばれ！関東の酪農応援in船橋賞」（3/14）が開催、優勝馬の馬主等に千葉県産の牛乳をたっぷり使用したアイスクリーム（おなりみるく工房）のセットを贈りました。

茨城県（3/13）



☆のおヨーグルトLilia(茨城県産)



茨城県産生乳を100%使用(茨ちち)した、チーズのようなコクがあり、まろやかで甘さ控えめな飲むヨーグルト。

千葉県（3/14）



☆八千代のおヨーグルト(千葉県産)



牛乳の持つ美味しさと風味を大切に考え、生乳をたっぷり50%配合した牛乳仕立てののむヨーグルト。生クリームと粘性を高める乳酸菌を使用。

栃木県 (3/15)



☆蔵の街のお苺ヨーグルト(栃木県産)



栃木県産生乳84%に、甘く熟した”とちおとめ”苺果汁7%加えたドリンクヨーグルト。苺の甘さと香りがヨーグルトの酸味と調和。

群馬県 (3/16)



☆ドリンクヨーグルト(群馬県産)



原料は生乳と乳酸菌だけ！少量のはちみつ(牧草のアルファルファから取れた蜜)を加え、自然の甘さをプラス。

なお、畜産に関する船橋競馬場の独自企画として、以下のとおり実施されました。

- (1) 県産牛肉・豚肉料理(牛カルビ重・チャーシュー丼など)を提供するキッチンカー(小六茶屋)が出店しました。
- (2) 農林水産大臣賞典「ダイオライト記念」開催を記念して行われた千葉の豪華畜産品(チバザビーフ「かずさ和牛」「せんば牛カレー」、チバザポーク「いも豚」など)が当たる抽選会が実施されました。

参加方法は、抽選会当日(3/15)に購入した船橋競馬の未確定勝馬投票券(500円分以上)の提示。

キッチンカー出店 (3/13)



ダイオライト記念開催記念抽選会 (3/15)



最終的に全国の競馬場で、のべ約13,500名に地域の牛乳・乳製品の配布が行われたほか、地域の酪農を応援する冠レースが22レース開催されました。

今後も同様の取組は継続して実施される予定とのこと。これからも様々な取組みを通じて日本の酪農を応援していきます。(企画課 飯沼)

畜産に学びの場を。

FARMinar ファーマナー

お客さま専用オンライン情報配信サービス

POINT1
どこからでも参加できる
オンラインセミナー

POINT2
専門家による飼養管理や
農場運営に役立つコラム

ZENOQA
Gazing at the future



令和5年度 千葉県畜産関係機関一覧表①

■農林水産部

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1

TEL	職名	氏名
043-222-2800	部長	前田 敏也
043-223-2801	生産流通戦略担当部長	崎山 一
043-223-2803	次長	染井 健夫
043-223-2804	次長	堀越 明
043-223-2805	次長	小野 勉

■畜産課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-222-3098

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2931	課長	大澤 浩司
043-223-2929	副課長(事)	森本 茂明
043-223-2930	副課長(技)	菊地 里佳
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	山崎 直
	主幹	渡辺 聡
	主査	寺尾 寧子
	副主査	関谷 圭美
	副主査	小池 広明
	副主査	鈴木 良平
	技師	宮田 鮎美
	技師	阿部 久瑠美
生産振興班 043-223-2939	主事	藤原 健史郎
	主事	田中 勇輝
	班長	有路 優子
	主査	田仲 景士郎
	副主査	竹尾 駿
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	技師	川瀬 晶
	技師	野口 航平
	班長	丸山 武則
	主査	沼尾 真人
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938	主査	佐野 実乃里
	技師	谷川 光
	副技監兼室長	江森 美香
	主幹	猪俣 一陽
	副主幹	吉田 喜一郎
BSE 対策本部 043-223-3084	主査	高橋 隆太
	副主査	橘 美奈子
	副主査	藤田 圭佑
	副主査	岡本 みさき

■担い手支援課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-201-2615

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2900	課長	板倉 孝一
農業経営支援班	班長	佐久間 真由子
専門普及指導室 043-223-2912	副技監兼室長	市原 重信
	上席普及指導員	野中 太輔

■中央家畜保健衛生所

〒262-0011 千葉市花見川区三角町 656
TEL: 043-250-4141 FAX: 043-236-0090

部署	職名	氏名
	所長	小川 明宏
	次長	笠井 史子
	主幹	櫻井 紀夫
庶務課	課長	岡崎 晃士
	主事	鈴木 悠介
衛生指導課	課長	渡邊 和彦
	専門員	松原 芳絵
	専門員	渡邊 世奈
	主任技師	中村 みどり
防疫課	課長事務取扱	笠井 史子
	上席専門員	猪熊 道仁
	主任技師	石原 裕介
	主任技師	角田 千春

〒285-0072 佐倉市岩富町 497

TEL: 043-498-1431 FAX: 043-498-1475

部署	職名	氏名
病理生化学課	次長	松本 敦子
	課長	石原 勇人
	専門員	小林 大誠
	技師	清水 耕平
	技師	島田 果歩
	技師	巖真 卓也
細菌ウイルス課	技師	巖真 卓也
	課長	大坪 岳彦
	上席専門員	西川 潤
	専門員	三浦 良彰
	専門員	本多 芙友子
	技師	大矢 美帆
	技師	後藤 花菜

■東部家畜保健衛生所

〒283-0064 東金市川場 1105-3

TEL: 0475-52-4101 FAX: 0475-52-3335

部署	職名	氏名
	所長	藤野 晴彦
	次長	古屋 聡子
	主幹	平島 淳
衛生指導課	課長	片山 雅一
	副主査	岡本 幸恵
	上席専門員	佐多 美香
	上席専門員	菅 賢明
	主任技師	佐々田 由美子
	技師	醍醐 由香里
	技師	蒲生 汐理
	課長事務取扱	古屋 聡子
	上席専門員	塚原 涼子
	上席専門員	綿村 崇宏
防疫課	専門員	進藤 彰
	主任技師	中橋 冬陽
	技師	志賀 彩加

令和5年度 千葉県畜産関係機関一覧表②

■南部家畜保健衛生所

〒296-0033 鴨川市八色 52
TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434

部署	職名	氏名
	所長	市沢 三香
	次長	木下 智秀
衛生指導課	課長	石川 直子
	主査	平川 智子
	上席専門員	末政 奈津美
	専門員	矢嶋 真二
	専門員	佐藤 沙樹
	技師	土肥 世生
防疫課	課長	田中 なほ子
	上席専門員	細野 真司
	技師	高貴 秀幸
	技師	山口 敦子
	技師	飯島 雄二

■北部家畜保健衛生所

〒287-0004 香取市岩ヶ崎台 12-1
TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996

部署	職名	氏名
	所長	江森 格
	次長	千葉 耕司
衛生指導課	課長	森田 秀雄
	副主幹	成毛 弥生
	上席専門員	上林 佐智子
	専門員	中山 雄大
	専門員	小山 祐介
	専門員	五十嵐 直子
	技師	知念 ふじの
	主任技師	畑中 ちひろ
防疫課	課長事務取扱	千葉 耕司
	副主幹	武石 佳夫
	上席専門員	新居 友明
	専門員	青木 朋子
	主任技師	不破 友介
	技師	高梨 優希
	技師	赤澤 珠季

■畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ 16-1
TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447

部署	職名	氏名
	センター長	島田 純
	次長(事)	羽生田 和正
	次長(技)	市原 裕二
総務課	課長事務取扱	羽生田 和正
	副主幹	川本 一俊
	主事	柴田 静
	主事	丸山 智恵子
	主事	前屋 優希

部署	職名	氏名
企画環境研究室	室長	齊藤 健一
	主任上席研究員	鈴木 一好
	上席研究員	松本 友紀子
	上席研究員	中代 浩之
	上席研究員	長谷川 輝明
	研究員	山崎 藍子
	研究員	岡庭 就祐
	研究員	陰山 潔
乳牛肉牛研究室	室長	大塚 洋功
	主任上席研究員	川嶋 賢二
	上席研究員	倉地 充
	研究員	行川 貴浩
	研究員	三根 琴美
養豚養鶏研究室	研究員	石井 亮一
	室長	山口 倫子
	上席研究員	関野 友利華
	上席研究員	萩原 妙子
	研究員	小形 次人
	研究員	松本 千明
	研究員	能瀬 祥吾
研究員	井出 深	

■畜産総合研究センター 市原乳牛研究所

〒290-0531 市原市国本 602

TEL・FAX	職名	氏名
TEL: 0436-96-1231	所長	永福 和明
	主幹	平尾 明
FAX: 0436-96-0956	主任上席研究員	青木 大輔
	副主査	高柴 正和
	上席研究員	久保田 尚
	研究員	吉田 早希
	研究員	小高 宏貴
	研究員	村田 遥夏

■畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所

〒299-2507 南房総市大井 686

TEL・FAX	職名	氏名
TEL: 0470-46-3011	所長	森 知夫
	主査	和田 康代
	上席研究員	関根 大介
FAX: 0470-46-3012	研究員	福井 陽士
	研究員	斎藤 孝太郎
	研究員	富松 大智
	研究員	

令和5年度 千葉県畜産関係機関一覧表③

■千葉農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町 473-2	主査	柴田 るり子	043-300-1985	043-293-3916
改良普及課		主任上席普及指導員	原 浩文	043-300-0950	043-293-2710
		普及技術員	山下 瀬里奈		

■東葛飾農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒277-0861 柏市高田 990-1	副主査	君塚 時江	04-7143-4122	04-7144-8260
改良普及課	〒277-0005 柏市柏 255-1	主任上席普及指導員	渡辺 博剛	04-7162-6151	04-7162-6154

■印旛農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒285-0026 佐倉市鏑木仲田町 8-1	主査	伊藤 香葉	043-483-1129	043-485-9502
改良普及課		副主査	高田 まどか		
		主任上席普及指導員	伊藤 静雄	043-483-1124	043-485-9502
	普及指導員	岸田 雅弘	043-483-1128		

■香取農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒287-0003 香取市佐原イ 92-11	副主幹	小林 正和	0478-52-9192	0478-54-5617
改良普及課		副主査	名取 美貴		
		上席普及指導員	綿貫 俊貴	0478-52-9195	0478-55-1703
		普及指導員	清田 涼雅		

■海匝農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒289-2504 旭市二 1997-1	副主幹	戸田 浩彰	0479-62-0156	0479-64-2502
改良普及課		技師	櫻沢 実奈		
		上席普及指導員	村中 洋美	0479-62-0334	0479-62-4482
		普及技術員	熱田 麻衣		

■山武農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿 17-6	技師	寺崎 亮太	0475-54-1122	0475-55-8614
改良普及課		技師	菊山 亮		
		〒283-0005 東金市田間 2-14-2	普及指導員	南村 昌孝	0475-54-0226

■長生農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原 1102-1	副主査	羽深 真里	0475-22-1751	0475-26-2234
改良普及課		普及指導員	中原 祐樹	0475-22-1771	0475-25-2061

■夷隅農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒298-0212 夷隅郡大多喜町猿稻 14	副主査	中山 妙子	0470-82-4956	0470-82-5348
改良普及課		普及技術員	後藤 衛	0470-82-2213	0470-82-3975

令和5年度 千葉県畜産関係機関一覧表④

■安房農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒294-0045 館山市北条 402-1	技師	山本 啓悟	0470-22-7131	0470-22-0097
		技師	堀口 聖也		
改良普及課		上席普及指導員	新垣 裕子	0470-22-8132	0470-22-0097
		普及技術員	中橋 春香		

■君津農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒292-0833 木更津市貝淵 3-13-34	主査	小林 夏奈子	0438-25-0107	0438-23-6698
改良普及課		普及指導員	加藤 久美子	0438-23-0299	0438-23-6698

肉用子牛生産者補給金制度（第7業務対象年間）

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としておりますので、加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。

また、契約者死亡、経営中止、経営移譲、個人から法人への移行等、現在の契約に変更が生じた場合は、速やかに事務委託先を通じて報告をお願いいたします。（企画課 飯沼）

◆肉用子牛の保証基準価格・合理化目標価格及び発動状況

（単位：円/頭）

区分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格		429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
4年度第3四半期	平均売買価格	614,000	534,100	—	127,400	301,400
	補給金単価	—	—	—	36,600	—
4年度第4四半期	平均売買価格	613,600	523,500	252,300	148,100	308,200
	補給金単価	—	—	67,630	15,900	—

※その他の肉専用種については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

◆生産者積立金単価及び負担割合

（単位：円/頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	18,800	6,800	3,200
国（機構）（1/2）	800	3,000	9,400	3,400	1,600
県（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800
生産者（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800

◆その他

令和5年度は法人を中心に現地調査を行います。ご協力をお願いいたします。

酪農家・肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう!!

牛トレーサビリティ制度に
関するお問い合わせは…

- ・関東農政局 消費・安全部 水産安全管理課 TEL:048-600-0600
- ・関東農政局 千葉支局 牛トレーサビリティ110番 TEL:043-380-0778

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度はTPP11の発行により法制化され実施されています。肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、差額分の9割が交付されます。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（経営・環境課 小倉）

◆ 令和5年度の登録肉用牛1頭当たりの負担金単価

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種
負担金単価	16,000円/頭	17,000円/頭	14,000円/頭

注：肉専用種においては、千葉県の負担金単価。（交雑種及び乳用種は全国一律）

◆ 交付金の交付状況

令和4年度第3四半期（令和4年10～12月）及び第4四半期（令和5年1～3月）において、下記のとおり交付されております。（単位：円/頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C) = (A) - (B)	交付金単価 (D) = (C) × 0.9
令和4年 10月	肉専用種	1,224,400	1,241,072	△16,672	15,004.8
	交雑種	722,141	733,576	△11,435	10,291.5
	乳用種	479,135	526,924	△47,789	43,010.1
令和4年 11月	肉専用種	1,228,068	1,245,275	△17,207	15,486.3
	交雑種	725,541	727,503	△1,962	1,765.8
	乳用種	478,075	519,147	△41,072	36,964.8
令和4年 12月	肉専用種	1,245,870	1,249,387	△3,517	3,165.3
	交雑種	746,027	718,625	27,402	—
	乳用種	474,719	529,348	△54,629	49,166.1
令和5年 1月	肉専用種	1,186,876	1,248,954	△62,078	55,870.2
	交雑種	719,540	733,926	△14,386	12,947.4
	乳用種	477,731	526,032	△48,301	43,470.9
令和5年 2月	肉専用種	1,165,188	1,253,648	△88,460	79,614.0
	交雑種	679,463	730,612	△51,149	46,034.1
	乳用種	471,011	522,114	△51,103	45,992.7
令和5年 3月	肉専用種	1,181,287	1,258,580	△77,293	69,563.7
	交雑種	708,071	719,671	△11,600	10,440.0
	乳用種	470,129	533,232	△63,103	56,792.7

注：交付金は1円単位で交付となります。

◎ 牛マルキン制度では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりませんのでご注意ください！

牛マルキン制度は、肉用牛経営の安定を図る制度です。

このため、肥育以外の目的に仕向けられた牛（繁殖雌牛や種雄牛）は交付金の交付対象となりません。（一部の一産取り肥育等は除く。）

繁殖雌牛や種雄牛を誤って申込んだことが分かった場合や、申込の後に繁殖に仕向

けた場合は、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。

なお、すでに納付された生産者積立金は返金できませんが、業務対象年間終了後の基金の残額の返還の対象にはなりません。





チバザビーフ協議会報



チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています

◆枝肉品評会 (R5.2.15)

東京都中央卸売市場食肉市場において、第13回となる枝肉共励会を開催いたしました。

今回も実施内容は枝肉審査及び枝肉のセリ販売のみとし、当日の審査講評及び褒章授与式は中止としております。(結果のみ後日送付。)

■ 出品区分及び頭数

黒毛和種 49頭 (去勢41頭、雌8頭)

交雑種 38頭 (去勢21頭、雌17頭) 計 87頭

■ 黒毛和種の部

区分	上場番号	生産者名称	性別	枝肉重量(kg)	0-7cm芯面積(cm ²)	枝肉単価(円/kg)	枝肉金額(円)	褒賞
最優秀賞	103	磯野 正	雌	480	97	3,017	1,448,160	・農林水産大臣賞 ・千葉県知事賞 ・千葉県畜産協会会長賞
優秀賞1席	93	株井玖牧場	去勢	579	95	2,675	1,548,825	・東京食肉市場株式会社社長賞
優秀賞2席	76	株TAK	去勢	664	107	2,702	1,794,128	・日本食肉格付協会会長賞
優良賞1席	84	株高梨牧場	去勢	593	106	2,539	1,505,627	・千葉県家畜商協同組合理事長賞
優良賞2席	107	伊藤 茂雄	雌	465	90	2,592	1,205,280	・千葉県肉牛生産農業協同組合代表理事組合長賞

■ 交雑種の部

受賞	上場番号	生産者名称	性別	枝肉重量(kg)	0-7cm芯面積(cm ²)	枝肉単価(円/kg)	枝肉金額(円)	褒賞
最優秀賞	115	合同会社小池牧場	去勢	558	64	1,922	1,072,476	・関東農政局長賞 ・千葉県知事賞 ・千葉県畜産協会会長賞
優秀賞1席	132	株宇井畜産	雌	506	64	1,769	895,114	・東京食肉市場株式会社社長賞
優秀賞2席	126	石毛 康裕	去勢	578	76	1,724	996,472	・全国畜産農業協同組合連合会会長賞
優良賞1席	116	合同会社小池牧場	去勢	572	62	1,644	940,368	・全国農業協同組合連合会千葉県本部長賞
優良賞2席	125	土佐 英樹	去勢	699	72	1,455	1,017,045	・千葉県と畜場協会会長賞

◆活動状況報告

☆第21回全国穴掘り大会【成田市：成田ゆめ牧場】(2023.2.5)

シンプルに掘った穴の深さを競う全国的にも知名度のある同大会。3年ぶりの開催となり、例年より大きく規模縮小となりましたが6人以内でチーム編成された計73チーム約400人が参加しました。

チバザビーフでは入賞2チームに賞品を提供、来場者へ県産牛肉の普及・PRを行いました。【賞品：「せんば牛」3kg(500g×6パック)】



イベント情報等の詳細はこちらから！ ▶ <http://chibathebeef.jp/>



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

I 令和5年度第1回役員会の開催

令和5年5月17日（水）、公益社団法人千葉県畜産協会・会議室に於いて千葉県農林水産部畜産課 渡辺聡 主幹、千葉県畜産協会 岡田専務理事の来賓出席のもと、役員9名の出席を得て今年度第1回役員会が開催され、①令和4年度事業実績及び5年度事業計画、②令和5年度総会開催と提出議案、③畜産研修会について協議しました。

1. 令和5年度事業計画

(1) 農場HACCP構築指導（令和4年度～6年度）

本事業は千葉県畜産協会からの依頼に基づき農場HACCP認証及び維持を希望する農場へ指導員を派遣し、構築や内部監査等の指導・支援を行っています。5年度も引き続き、畜産農場に対し認証構築支援及び認証取得後の維持向上にむけた指導を促進します。

また、令和4年2月畜種別飼養戸数と比べると1戸で複数認証農場もありますが、戸数で1割、飼養頭羽数では3割を超す畜種もあり（表1）、畜産農家にある程度農場HACCPの認証が認知されてきたことが窺えます。

[表1]千葉県畜産農家戸数・飼養頭羽数(R4.2農水省)とNPO支援農場HACCP認証構築・認証農場数との比較

		乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー
県内	戸数	453	247	215	106	25
	飼養頭羽数	27,800	41,000	582,500	12,886 千羽	8,076 千羽
認証構築	認証農場(※1)	4(0)	13(0)	35(2)	11(7)	1(0)
	構築支援中農場	4	12	3	3	1
	合計(※2)	8(1.8%)	25(10.1%)	38(17.7%)	14(13.2%)	2(8%)
	飼養頭羽数(※3)	1,794(6.5%)	13,380(32.6%)	207,620(35.6%)	4,817(37.4%)	94(1.2%)

※1:NPO畜産ちばの支援とは別に構築した認証農場数。

※2:認証・構築支援中農場と県内の飼養戸数との割合。

※3:県内飼養頭羽数と認証構築農場の飼養頭羽数(聞き取り調査)との比較。

(2) 死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託（千葉県：公募事業3,674千円）

本事業は千葉県の公募事業で、中央家畜保健衛生所（佐倉）で実施している死亡牛等（96か月以上の死亡牛）の受入及び保管等の業務を補助する内容で、平成27年度から取り組んでいます。5年度：会員4名・167日派遣予定

(3) JGAP認証構築指導支援

県畜産課及び千葉県畜産協会の要請に基づき希望農場へ農業事務所等と構築支援する体制をとっていましたが4年度に希望する農場はありませんでした。5年度は県、農場から要望があれば積極的に推進します。

(4) 外国人研修生等を対象とした衛生研修会の開催

本事業では千葉県畜産協会単独事業による外国人研修生等を対象とした衛生研修会を開催し、飼養衛生管理の理解を図っています。最近の技能実習生は色々な国から来ているのでその国の言葉にあった資料の作成が必要です。専門業者に依頼し、希望する農場へパンフレットの配布や通訳を入れ出前講座を開催しています。5年度も同様に実施します。

(5) 消費者交流・動物情操教育事業

千葉県畜産フェア等に参加し、農場HACCPパネルの展示及びパンフレット配布、畜産なんでも相談等実施予定です。

2. その他（総会・理事会・畜産研修会の開催など）

前年と同様に推進していく予定です。

II 令和5年度総会・畜産研修会の開催

令和5年度は新型コロナ対策が5類に緩和され、対面式の総会・研修会を開催することに役員会で決定しました。皆様方に於かれましては是非参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 令和5年度総会

日時：令和5年6月14日（水）13時30分から
場所：千葉市生涯学習センター地下1階「小ホール」
千葉市中央区弁天3丁目7-7
電話 043（207）5811

議事：第1号議案 令和4年度事業報告、収支計算書、貸借対照表
及び財産目録の承認について

第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算の承認について

第3号議案 令和5年度会費について

第4号議案 役員の改選について



2. 第1回畜産研修会

日時：令和5年6月14日（水）14時30分頃から（総会終了後）
場所：総会会場（千葉市生涯学習センター地下1階「小ホール」）

演題：①仮題「BSEから20年～リスクとコミュニケーション」

講師 元農林水産省生産局畜産部長
元内閣府食品安全委員会事務局長
梅津 準士 様

②仮題「令和5年度主要政策について」

講師 千葉県農林水産部畜産課 企画経営室 主幹 渡辺 聡 様



※なお、畜産研修会終了後（16時30分頃）、「情報交換会」を予定していますので、是非こちらもご参加ください。

III 会員状況及び会員募集中

現会員数：80名（内訳 個人65名、団体12団体、賛助3団体）

令和4年度新規加入：個人会員：4名

◎ NPO会員募集中！皆様の「入会申込み」をお待ちしております。

当NPOでは、千葉県内で畜産業を営む農家に対し、経営、飼養管理、家畜衛生等の技術を持つ人材の情報を提供し、経営を支援する事業を行うとともに、一般消費者への県内産畜産物消費拡大や児童生徒への動物ふれあい情操教育活動の場を作り、県内畜産振興並びに県民への畜産に対する理解を深めることを目的として活動を行っています。

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（千葉県畜産協会内）
TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>





1. 熊谷千葉県知事年頭あいさつを踏まえ知事との懇談会開催 2023/2/10

1月6日（金）、年頭挨拶で熊谷千葉県知事を訪問いたしました。青柳会長から昨年12月に開催された「活動報告会」へのご出席の御礼を申し上げ、厳しい養豚情勢を踏まえ、豚熱・飼料対策について変わらぬ支援をお願い致しました。知事から「養豚は県の重要な産業です。変らず生産に頑張ってください。」とエールをいただきました。



2月10日（金）、昨年から希望し、新年挨拶の折にもお願いをいたしました知事との第1回懇談会は、2月県議会が開催されて間もない大変お忙しい中にも拘わらず、昼休みの限られた時間ではありましたが、県庁舎6階知事応接室において開催をさせていただきました。

懇談の内容は、①養豚場における堆肥の処理・搬出と耕種農家との利用調整、②堆肥のバイオマス化、③地域未耕作地の活用、④養豚での飼料米の利用、⑤太陽光等の活用、⑥県下養豚戸数の確保のための経営安定政策、⑦地域活性化に係る第一次産業である農業振興の重要性、⑧後継者の収入の安定確保の必要性、など多岐にわたる話題が出され、参加者全員が意見を述べる有意義な意見交換会となりました。

2. 日本養豚振興政治連盟（トンセイレン）2023年通常総会開催 2023/3/9

令和5年日本養豚振興政治連盟の総会は、都内千代田区六番町所在の主婦会館において開催され、①2022年活動報告及び収支決算、②2023年活動計画及び収支予算、③2023年会費、④任期満了に伴う役員改選、と予定された全議案が承認されました。



〔令和5年（2023年）活動計画の内容〕

1. 一般社団法人日本養豚協会（JPPA）と連携して、政権与党に対して養豚振興のためのロビー活動を推進する。
2. 海外からの豚肉輸入に対抗するため、国民消費者を国産豚肉の応援者として味方につける必要があり、その活動財源としてJPPAが提唱し、他の団体に賛同協力を求めているチェックオフ制度の法制化を求め運動を展開する。
3. 豚熱（CSF）の終息に向けて飼養衛生管理を徹底するための対策を強化するよう推進し、アフリカ豚熱（ASF）の水際対策を強化するよう要請する。
4. 自民党養豚農業振興議員連盟の政治活動を積極的に支援し、養豚に対する関心を高めていただき、強力な応援団になっていただくよう運動を展開する。
5. 会員加入の推進を図るため、トンセイレン役員が中心となり活動する。

〔第7期役員名簿（三役）〕

会長	香川 雅彦	宮崎県
幹事長	塩澤 英一	千葉県
会計責任者	石川 輝芳	宮城県
副会長	中岡 勝	北海道
〃	山口 昌興	神奈川県
〃	山本 孝徳	愛知県
〃	佐竹 宣昭	高知県
〃	福田 実	大分県

3. 自由民主党養豚農業振興議員連盟総会及び豚肉試食交流会開催 2023/3/9

自由民主党養豚農業振興議員連盟の総会が、都内千代田区六番町所在の主婦会館にて開催されました。振興議連 森山裕 会長は公務で出席されませんでした。坂本哲志 副会長、葉梨康弘 幹事長、井野俊郎 事務局長、神田潤一 事務局次長、来賓として宮腰光寛 前振興議連会長ほか議員本人出席者21名、代理出席は22名、合計48名。トンセイレン総会出席者：香川雅彦 会長ほか50名が参加いたしました。

開会に際し、宮腰光寛 前振興議連会長から「養豚議連の前身である養豚議員懇話会が平成25年に発足、その後養豚農業振興法の制定、豚マルキン制度が牛並みに改正された歴史がある。現在、養豚経営は苦しい状況にあるが、養豚議連の先生方に養豚業界をさらに後押しして欲しい。」と激励のご挨拶をいただきました。

続いて議事に入り、幹事長 葉梨康弘議員から昨年2回開催された養豚議連緊急役員会の経緯をご説明され、ロシア・ウクライナ情勢の影響から飼料高騰、食料安全保障、豚熱等の課題をJPPA執行部役員



【豚熱に関する緊急要請の内容】

1. 都道府県による飼養衛生管理のきめ細やかな指導や免疫付与に係るデータの収集・分析の強化をお願いするとともに、適切な豚熱ワクチン接種体制の確保に配慮しつつ、家畜防疫員及び知事認定獣医師以外の者による接種の仕組みも検討していただきたい。
2. 豚熱ワクチンの免疫付与状況確認検査の結果を踏まえ、必要な農場に対しては効果的な追加接種を実施していただきたい。
3. 万一発生した場合に備え、埋却地の事前確保や、緊急時における移動式レンジング装置等の活用について、現場の声を踏まえしっかりと対応するよう、都道府県に対して指導をしていただきたい。
4. 野生イノシシ対策として、経口ワクチンの散布体制の充実強化及び供給量の確保に万全を期していただきたい。

と協議し、9月1日及び10月21日に振興議連から野村哲郎 農林水産大臣へ緊急要請を行ったことをご報告されました。

国産豚肉のしゃぶしゃぶを試食しながらの懇談では、生産者が議連の先生方に日頃考えている意見などを聞いていただく良き機会として親睦を深めることが出来ました。中締はトンセイレン塩澤英一 幹事長が務め、養豚に関する対策を講じてくださる先生方への謝辞を述べ「養豚一本締め」で会を閉じました。

4. 令和5年度 県人事異動に伴い関係部署へ挨拶 2023/4/14

ナイスポーク 青柳耕一会長、菅谷知男 会長代理、林浩之 副会長、岩岡喜久男・塩澤英一 両顧問、堀江光洋 アドバイザー、事務局 加藤の7名は、令和5年度、定期県人事異動に伴い異動のあった関連部署へ挨拶に出向きました。



5. 農林水産部畜産課との意見交換会 2023/4/14

定期人事異動で、畜産課へ挨拶に出向いた際に担当者との意見交換を実施、畜産課から大澤 畜産課長、江森 家畜衛生対策室長、山崎 企画経営室長、関谷 企画担当副主査が出席され以下の内容について意見を交わしました。

(1) と畜検査料金の値上げに関する情報

先般、埼玉県のプロducerから知らないうちに、と畜検査料金・と畜場でのと畜解体料値上げが決まってしまったとの情報が届いた。ナイスポーク協議会の委員会である「養豚振興プロジェクト委員会」は、と畜経費の軽減を求めて立ち上げた経緯がある。と畜検査料は県手数料条例に基づき徴収され、県の一般財源の収入となっていることから、常に料金軽減を要請し、それが結果として値上げの歯止めとなっている。関東養豚協議会（関東8県による組織）においても、過去に議題として一律300円を維持して行こうと協議してきた。

現在、関東各県におけると畜検査料金（2022年8～9月）は次のとおりとなっている。

料金(円)	対象県	備考
300	千葉県、神奈川県、群馬県	
310	茨城県、栃木県、東京都、長野県	
320	山梨県	
340	埼玉県	・2023年改正情報

各県での、料金値上げの検討は近隣県の徴収状況を参考にすることから関東各県が足並みを揃え、値上げを許さない取組を常に心掛けていかなければならない。

(次頁へ続く)

(2) レンダリング装置の活用による埋却から焼却への方向転換

ナイスポークは、現地での説明を踏まえ、嘆願のための署名運動をほぼ終えていることから、近々提出の準備を進めている。県からは、①県内生産者において飼養衛生管理基準がまだ十分遵守されていない中で基本的には埋却場所の確保は必要であること、②レンダリング処理の機械の設置場所の確保ができていないこと、③焼却施設に対し地域で強い要請の動きがないこと、などの意見が出された。この問題は生産者だけに押し付ける問題ではないことから、今後も県との意見交換会はつづけていくこととし、嘆願署名は県と調整したうえで提出する予定である。



なお、レンダリング装置の活用に向けては、近々役員会で協議し、その内容を地元を持ち帰り、どの程度前向きに進められるか協議することとした。

ナイスポーク推進協議会
事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部 (担当:加藤)
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

チバザポーク便り

チバザポーク販売推進協議会



☆「ペリエ」にて、千産フェア「千葉県のおいしいもの」が開催されました！

千葉県内の駅ビル・商業施設ペリエでは、ショップ・生産者の方々と共に千葉の生産物を使用した商品を通じて、わたしたちが暮らす千葉の魅力を味わい、楽しんで欲しいという想いから「千産フェア」が開催されました。今回は、敬愛大学と連携し、千葉県産ブランドPR企画「チバザポーク特集」としてイベントが実施されました。



- 開催期間:令和5年3月1日(水)～令和5年3月31日(金)
- 実施施設:ペリエ稲毛、西千葉、津田沼、西船橋



◀ イベント情報等詳細はこちらから！



敬愛大学 × 恋する豚研究所

地域とつながる、学生インタビュー

「恋する豚」を通じて、「千産千消」の多彩な魅力を実感！



「チバザポーク」をもっと知っていただくことを目的としたペリエ稲毛と敬愛大学との産学連携プロジェクト。その中で観光の機能や仕組みについて学ぶ国際学部のみなさんが、「チバザポーク」の銘柄「恋する豚」の生産者、有限会社アリタホックサイエンス(在田農場)と、レストランを営む株式会社恋する豚研究所に、インタビューを行い、豚肉の品質向上に向けた取り組みや生産者の想いに触れながら、千葉で過ごす学生ならではの視点で「千産千消」への愛着や、楽しみ方を紹介しました。

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。

地方競馬の収益金は
畜産の振興に役立てられています。



部署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	

Eメール: info@chiba.lin.gr.jp

URL http://chiba.lin.gr.jp